季報

二松学舎大学附属図書館
Quarterly Report

P2　人生 100 年時代の 20 代　中垣陽子

P3　図書館の思い出　仙石知子

P4 ～ 5　三鷹文学散歩　～太宰治が暮らした面影を求めて～

P6　図書館のホームページを活用しよう！
「朝日新聞クロスサーチ」について

P7　本学所蔵資料紹介　／　作家のおやつ巡り④

P8　本学教職員著書紹介

No.113

2022（令和４）年７月

人生 100 年時代の 20 代

国際政治経済学部国際政治経済学科　教授　中垣　陽子

バブル絶頂期の 1989 年、世界の時価総額ランキングトップ 50 のうち 32 社は日本企業だった。当時と今のランキングを並べて授業でみせると、見慣れない日本語社名が上位に並ぶ当時の表が、Apple や Microsoft などから始まり横文字社名ばかりの今の表と同じランキングであることを俄かに理解できない学生もいる（1989 年の上位 1 ～ 5 位は日本電信電話、日本興業銀行、住友銀行、富士銀行、第一勧業銀行。一方、現在ランクインしている日本企業は 30 位台のトヨタのみ）。当然ながら、現在の日本の株価は当時に遠く及ばない。

もう一つ当時に及ばないのが、1 人の女性が生涯に産む子供の数の理論値、合計特殊出生率（以下「出生率」という）である。1989 年の出生率は 1.57 となり、丙午で子どもを持つことを避ける家庭が多かった 1966 年の水準をも下回ったため、「1.57 ショック」という言葉が生まれた。当時はショックを受けるほど低かったその水準を、だがしかし、その後回復することはなく、2020 年現在出生率は 1.33 である。大雑把にいえば、父母計 2 人から 2 人の子どもが生まれれば、つまり出生率が 2 なら人口が維持されるわけで（正確には 2.07）、出生率が 1.6 なら次世代は 8 割、1.4 なら 7 割、1.2 なら 6 割に減る。これが続くと、3 世代後、およそ 100 年弱後の人口は、出生率 1.6 の場合で半分、出生率 1.4 の場合 3 分の 1、1.2 の場合 5 分の 1 にまで減ることになる。

我が国の出生率は、高度経済成長期が終焉した 1975 年から 2 を下回っており、当時から将来の人口減少は予期しうるものだった。が、1.57 ショック以降、人口減少に向けたモメンタムは大きく加速し、2008 年をピークに人口は減少に転じた。バブル崩壊後の日本経済は「失われた 30 年」と総括されるが、その 30 年は人口減少が顕在化した期間でもあったのだ。ちなみに、2021 年 1 年間の人口減少数 64 万人は、鳥取県の人口より多く島根県の人口に近い。

世界の総人口も今世紀中には減少に転じるとみられる。東アジア諸国の少子化は特に顕著で、中国の 2020 年の出生率は 1.3、韓国の 2021 年の出生率は 0.81 である。出生率 0.8 は、先ほどの計算でいえば、3 世代後の人口が現時点のわずか 6%にまで減ってしまう水準である。

少子化は、若者がそれぞれの環境で人生の選択を行ってきた結果である。日本では、夫婦以外から産まれる子どもの数が非常に少ないため、少子化の問題を考える上で結婚するかどうかが重要である（韓国も夫婦以外からの子どもが極端に少ない国である。このことと少子化には関係があるとみられるが、ここでは議論しない）。よく使われる 50 歳時の未婚率は、1960 年には男女とも 1%台であったが、2020 年には男性 28.25%、女性 17.81%にまで上昇した。さらに、内閣府の調査によれば、2015 年までは 2 割程度だった「結婚・同棲・恋人いずれも必要でない」と考える 20 ～ 40 代の割合が、2020 年には 4 割近くにまで増加した。マイナビが今の大学 4 年生に対して 2021 年年秋に行った調査でも、「結婚せずに自分の収入のみで生活するのが希望」とした学生が男女とも初めて 1 割を超えた。また、同調査によれば、結婚を希望する人のうち男性の約半分、女性の 4 分の 1 が、30 歳以上での結婚を希望している。

内閣府の 2019 年の調査によれば、結婚相手の男性に 400 万円以上稼いでほしいと考える未婚女性が 7 割を超えているのに対して、年収 400 万円以上の未婚男性は 3 割に満たない。そもそも結婚を望まないのであれば、もちろんそれで良い。しかし、経済的な理由から結婚を諦める、または先送りしている場合、そうでない場合よりも出生率が低くなるとすれば、人口減少を少しでも食い止めるという観点からは、対処すべき問題であると言える。

このうち、結婚先送りについて、実際には、30 歳時点で、男性の 6 割、女性の 7 割は既に結婚している。しかも出会いから結婚には一般的に数年を要する。お見合いや職場の上司の紹介といった状況がほとんどなくなった今、結婚を望むのであれば早い段階から主体的に行動することの意義は大きい。

2007 年に日本で生まれた子どもの半分は 107 歳まで生きるという推計もあり、生涯にわたって自らの能力を更新し続けていくことが不可欠となっている。特に、20 代は社会人人生のスタートを切る重要な時期である。一方、寿命は延びても男女ともに加齢とともに子どもが出来にくくなる状況は変わっていないため、将来的に子どもを持つことを望むのであれば、結婚をあまり先送りするのは得策ではない。ベストセラー『ライフシフト２』では、その後書きで、先手を打つ、将来を見据える、「ありうる自己像」を意識する、可変性と再帰性を意識する、移行を受け入れる、の 5 点の重要性を強調している。これは主に職業人生を意識して書かれているが、今の日本では家族形成においてもこうした視点が重要である。仕事も家族も、選択肢自体は時代と共に広がっている。若者たちが自己実現しやすい社会環境と自身の主体的な行動・選択の両者が相まって、彼らが幸せを感じられる人生を手にできることを心から祈念する。

図書館の思い出

文学部都市文化デザイン学科　専任講師　仙石　知子

私は高校を卒業後、中国の天津にある南開大学に留学しました。1989 年のことです。当時は、外国人が個人で部屋を借りることはできず、留学生は全員、留学生宿舎に住んでいました。中国の大学は敷地面積がとても広く、大学の敷地内には、学生宿舎の他、教職員の住居、生活必需品が売っている店やレストランもあり、大学関係者はみな大学の敷地内で生活していました。普通に考えれば、中国人と生活空間が同じであることから、交流の機会をたくさん持てるように思えます。ところが実際にはそうではありませんでした。中国人が留学生宿舎に入るためには、１階にある服務台に身分証を提示しなくてはなりません。これも単なるセキュリティー上のことで大きな問題ではないように思えますが、登記をすること自体に抵抗感のある中国人が多かったようです。中国人の同級生の中には、外国人のもとを頻繁に訪れると国からマークされるのではないかと心配する人も多く、留学生宿舎にあまり遊びに来てはくれませんでした。1989 年の６月に天安門事件が起きたことや、同級生の家族が文化大革命の時代を生きた人たちであったためだと思います。表向きは交流の制限はされていないにも関わらず、外国人と中国人は見えない壁で分けられていると感じていました。そんな中、周囲を気にせずに交流を持てる場所の一つが図書館でした。

大学の図書館はとても立派な建物でした。でも、本の貸し出し手続きは大変に不便でした。まず、紙のカードで分類された大量のカードを引き出しの中から探します。その後、貸出票に名前と書名などを記入して、図書館の人に出してもらうのですが、親切な図書館の人は、いませんでした。請求番号を提示すると必ず嫌な顔をされます。それは留学生に対してだけでなく、中国人学生に対しても同じ態度でした。また、図書館は建物は立派であるのに、図書館内には閲覧スペースがあまりなく、ゆっくり読書をしたり、調べ物をしてレポートを書いたりすることもできませんでした。そのため、図書館を出たところにある石段に座って本を読んでいる学生がたくさんいました。そこでは周りを気にせず、同級生と色々な話をすることができました。その後、同級生たちが向かう先は、宿舎ではなく、授業を行う教室のある主楼という建物でした。中国人学生の宿舎は５人部屋であったため、部屋にも勉強するスペースがなかったからです。主楼の閉館は夜10時でしたが、消灯はもっとずっと早い時間でした。そのため、学生たちは暖房も灯りも消えた教室で蝋燭をともし、その灯りで勉強をしていました。暖房のない寒い教室の中で、防寒用の綿コートを着た学生たちが、たくさんの蝋燭のあかりのもと熱心に勉強している姿は、とても幻想的でさえありました。なぜそれほど熱心に勉強に励むことができるのか？１番の理由は、人口の多い中国社会で、エリートになるためだったのだと思います。そのためには、決して努力を惜しまない同級生たちの気迫には目を見張るものがありました。今でこそ南開大学の図書館も昔に比べれば、環境は断然良くなっていますが、他者よりも上に行くために、蝋燭の灯りで勉強に励むバイタリティーは、今もなお一部の若者に受け継がれているようです。

二松学舎大学の図書館は、閉館まで電気がついています。それにもちろん本の貸し出しの際に、嫌な顔をされることもありません。借りたい本が大学にない場合は、所蔵機関を簡単に検索することもできます。大学在学中には、読書環境の整った大学の図書館を大いに活用し、本と向き合う時間をたくさん作って欲しいと思います。

三鷹文学散歩 ～太宰治が暮らした面影を求めて～

「ここは東京市外ではあるが、すぐ近くの井の頭公園も、東京名所の一つに数へられてゐるのだから、此の武蔵野の夕陽を東京八景の中に加入させたつて、差支え無い。」（「東京八景」）[※1]

太宰治（1909 ～ 1948）は、結婚した 1939 年 9 月 1 日に甲府を引き払い、三鷹に転居しました。その後、戦時中の疎開生活を挟み、亡くなる 1948 年までのおよそ 10 年近くの歳月を三鷹で過ごし、執筆に励みながら、時には井の頭公園を散歩しました。

今号では、太宰の「聖地」と言われる三鷹を散策してみました。三鷹駅南口①の駅前には、太宰の仕事場が点在しています。1946 年 11 月、疎開先の津軽から戻った太宰は、三鷹駅前郵便局のはす向かいにあった「中鉢（なかばち）家」（跡）②の 2 階に仕事場を借り、ここで『ヴィヨンの妻』などを執筆しました。1947 年 4 月から、『斜陽』の 3 章以降を書き継ぐために借りたのが、「田辺肉店離れ」（跡）③で、この店を舞台にして太宰には珍しいミステリー小説『犯人』が書かれました。現在は、サイゼリア三鷹駅南口店になっています。同年 7 月からは、編集者や知人の接待に使っていた小料理屋「千草」（跡）④の 2 階を仕事場のひとつにしていました。同年 9 月頃からは、愛人・山崎富栄（とみえ）の下宿先であった「野川家」（跡）⑤の 2 階も仕事場にしていました。翌 1948 年 6 月 13 日、太宰は、この部屋に、遺稿となった『グッドバイ』の原稿や遺書を残して、富栄と 2 人で玉川上水⑥へ向かいました。現在は水量が少なく穏やかな流れの玉川上水ですが、太宰が『乞食学生』で「人喰い川」と描写するほど当時は激しい流れでした。入水したと推察される場所には、太宰の故郷である青森県五所川原市金木町の特産である玉鹿石（ぎょっかせき）⑦が置かれ、太宰を偲んでいます。

また、駅前には酒好きな太宰が贔屓にしていたお店がありました。小さな飲食店が軒を並べていた通りは、太宰が通ったことから、「太宰横丁」⑧と呼ばれています。なかでも行きつけだったのが、小料理屋「喜久屋」で、引っ越して来たその日に入った店として有名です。「うなぎ若松屋」（跡）⑨は、太宰が編集者との打ち合わせ場所にしていた馴染みの店でした。太宰一家が利用していた「伊勢元酒店」は、『十二月八日』の舞台にもなっています。その跡地に建つビルの 1 階には、2008 年の没後 60 年と翌年の生誕 100 年を記念して、「太宰治文学サロン」⑩が開設されました。館内には、太宰行きつけの銀座の「バー・ルパン」を模したカウンターが設置されているほか、記念グッズも購入できます。

「三鷹市美術ギャラリー」⑪には、太宰が住んでいた家が「太宰治展示室 三鷹の此の小さい家」と題し、常設展示として再現されています。書斎も再現されているので、実際に文机の前に座って、太宰になった気分が味わえます。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

陸橋（三鷹跨線人道橋）⑫は太宰のお気に入りの場所で、友人を案内することもありました。残念なことに、老朽化のため、今後取り壊され、一部だけが保存されるそうです。三鷹駅前郵便局⑬は、太宰が原稿料受取りなどに利用していました。当時は、現在の郵便局の裏手にありました。

中央通りを南下すると、本の形をしたモニュメント⑭が設置されていて、『斜陽』の一節と評論家・亀井勝一郎の太宰評が刻まれています。禅林寺⑮には太宰の墓⑯があり、その斜め向かいには、森鷗外の墓があります。生前、太宰は『花吹雪』のなかで、「この寺の裏には、森鷗外の墓がある。・・・ここの墓所は清潔で、鷗外の文章の片影がある。私の汚い骨も、こんな小綺麗な墓地の片隅に埋められたら、死後の救ひがあるかも知れない」※2と述べており、その願いが叶いました。遺体が発見された日で誕生日でもある6月19日は「桜桃忌」と呼ばれ、多くのファンが集まるそうです。禅林寺から井の頭公園方面へ歩くと、途中に「松井珈琲商店」⑰があり、前身の「松井商店」（酒・たばこ店）の時代には太宰がよく買い物に来ていたそうです。「連雀湯（れんじゃくゆ）」（跡）⑱は、太宰一家が通っていた銭湯で、『十二月八日』には、妻が長女を連れて銭湯に出かける場面が描かれています。

散歩の締めくくりは、太宰が三鷹に居を構えた場所を訪れます。当時は新築の同じ造りの借家が3軒並んでいて、「表通りに沿った家は人通りがうるさく、まん中はおちつかない、奥が一番住心地がよかろう」※3という理由で太宰は一番奥を選びました。12坪半ほどの小さな家でしたが、新築のすがすがしさと日当たりの良さは、太宰に新たな活力を与えたことでしょう。

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

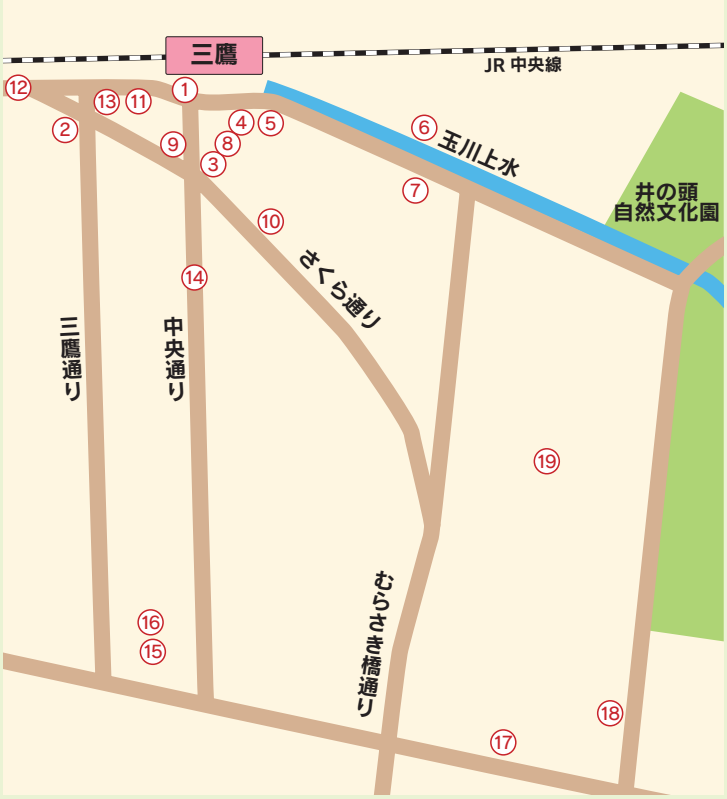
⑱

⑲

「僕は、こんな男だから出世も出来ないし、お金持にもならない。けれども、この家一つは何とかして守つて行くつもりだ。」（「東京八景」）※1

住居があった場所は、現在私有地となっていますが、向かいにある「みたか井心亭（せいしんてい）」の庭には、太宰旧居の門柱脇に植えられていた百日紅（さるすべり）の木⑲が移植されています。

三鷹は、太宰以外にも、武者小路実篤や山本有三、三木露風といった多くの作家が暮らしていた町です。当時の建物はほとんど残っていませんが、太宰が暮らした面影を求めて散策してみてはいかがでしょうか。



※1『太宰治全集　5』所収　筑摩書房刊
※2『太宰治全集　6』所収　筑摩書房刊
※3『回想の太宰治』津島美知子著　人文書院刊

図書館のホームページを活用しよう！

「朝日新聞クロスサーチ」について

2022 年 4 月に、朝日新聞の記事を検索できるデータベース「聞蔵Ⅱビジュアル」が全面リニューアルし、「朝日新聞クロスサーチ」に名称が変わりました。生まれ変わった「朝日新聞クロスサーチ」の利用方法について簡単に紹介します。本学図書館ホームページ「探す・調べる」の「→電子書籍・オンラインデータベース・電子ジャーナル」をクリックし、「朝日新聞クロスサーチ（旧：聞蔵Ⅱビュアル）をクリックすると、図 1 の画面になります。このページで検索できる内容は下記のとおりです。

図１

①キーワードによる横断検索

②コンテンツごとに個別検索

③ジャンルごとに、興味のある記事を検索

①に例えば「ウクライナ」と入れて横断検索をクリックすると、図 2 のように、検索結果一覧がコンテンツ別に表示されます。検索結果件数をクリックすると、図 3 のように記事の見出し一覧が表示されます。見出しをクリックすると本文を読むことができます（図 4）。検索したキーワードは、色着きで表示されるので、どこに記載されているのかが一目で分かります。

図２

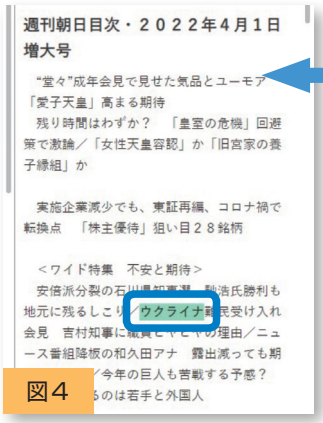


図４

図３

次に図 1 ②のコンテンツ別検索を使ってみましょう。「英文ニュース」をクリックし、検索ボックスに「Ukraine」と入力して検索してみます。ここでは、さらに「Specify Date」に日付を入力して、2022 年 3 月の記事に絞って検索すると、102 件の記事がヒットしました（図 5）。また、図 5 の Category には、「BUSINESS」や「SPORTS」などの項目があり、「COOL JAPAN」を選んで検索すれば「'Drive My Car' director hopes winning Oscar is not 'goal' for him」といった日本でも話題になった身近なニュースも簡単に見つけることができます。英文ニュースで検索できる記事は次のとおりです。

・ヘラルド朝日　2001 年 4 月～ 2011 年 2 月

・AJW（Asia & Japan Watch）　2011 年 3 月～

図 1 ③のジャンル検索は、各ジャンルのボタンをクリックすると関連するコラムなどが見られます。「記事」「縮刷版　～1999」「英文ニュース」のタブで検索対象を切り替えることができます。

ぜひ使って、レポート作成などにお役立てください。

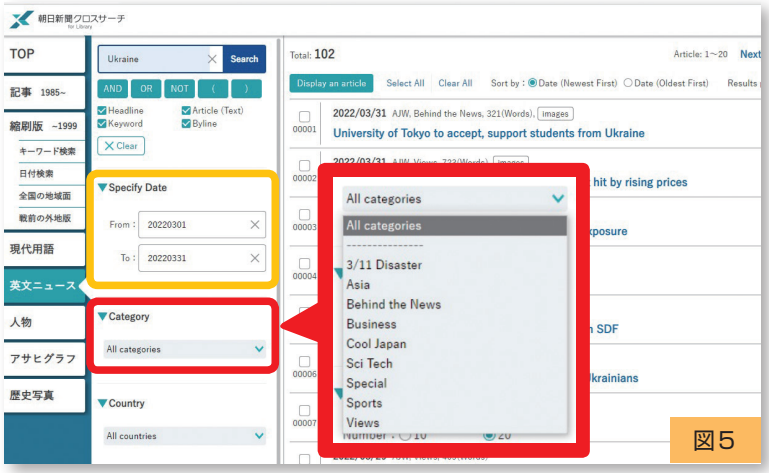
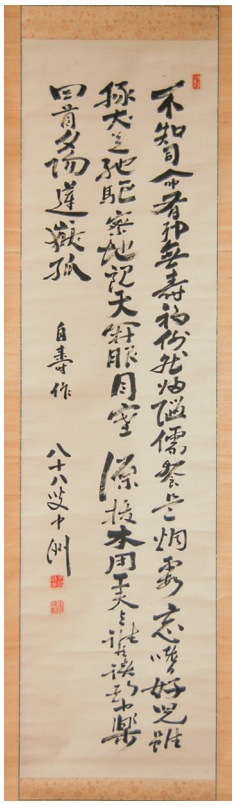


図５

本学所蔵資料紹介

三島中洲書幅　八十八自壽作　大正六（一九一七）年

三島中洲（一八三一～一九一九）…本学創立者。明治十（一八七七）年六月大審院判事を退職、同年十月漢学塾二松学舎を設立。明治二十九（一八九六）年東宮侍講、明治四十五（一九一二）年新帝（大正天皇）の侍講となる。大正四（一九一五）年宮中顧問官に任じられ、一等官に叙せられた。



不知司命有耶無　知らず　司令　有りや無しや
壽福偶然歸老儒　寿福　偶然　老儒に帰す
餐是烟霞忘嗜好　餐は是れ烟霞　嗜好を忘れ
兒雖豚犬足馳驅　児は豚犬と雖も　馳駆に足る
察地觀天開眼目　地を察（み）　天を観て　眼目を開き
塞源拔本運工夫　源を塞ぎ　本を抜きて　工夫を運らす
與誰共語斯中樂　誰と共に斯の中の楽しみを語らん
回首夕陽蓮嶽孤　首を回らせば　夕陽　蓮嶽孤なり

人の寿命を支配するという神が存在するのかどうかわからないが、思いがけず長寿の幸福がこの老儒者に訪れた。食事は仙人と同じもややかすみでよく、好物などはなくなり、子供たちは不出来ではあるが使い走り程度はできる。天地を観察して真理を悟ろうとし、世の中の弊害の根源を除き去るよい方法はないかと考える。この楽しみを誰と語り合えばよいだろう。

振り返ると、夕日に照らされた富士山の孤高の姿が見える。

（石川忠久編『三島中洲詩全釈』第五巻より）

作家のおやつ巡り④

日本推理小説の祖とも言われる江戸川乱歩（1894～1965）は、1934年に池袋に越してきて、没するまでのおよそ30年間を過ごしました。お酒よりも甘いものを好んだ乱歩が贔屓にし、「この店は池袋名物のうちでも、光った存在の一つであろう」※と称賛したのが、1937年創業の和菓子屋・三原堂です。なかでもお気に入りだったのが薯蕷饅頭（じょうよまんじゅう）です。すりおろした山芋が入ったもっちりとした皮の中に、十勝の小豆で作ったこし餡が詰まっています。ギフト用掛け紙の原稿用紙をモチーフとしたデザインは、乱歩が愛したお菓子ゆえでしょうか。

近くには「池袋乱歩通り商店街」もありますので、歩いてみてはいかがでしょう。

※「三原堂の菓子」（『うつし世は夢』所収　講談社刊）

本学教職員著書紹介

『入門　中国学の方法』

二松學舍大学文学部中国文学科編
（勉誠出版、2022 年 3 月 31 日発行）
A5 判　261 頁・1,600 円＋税
ISBN：978-4-585-30005-2

本書『入門 中国学の方法』は、中国文化に関する学問・学術を専門とする本学の専任教員が、各自の研究分野に固有の「中国学の方法」はどのようなものかという共通の視点を設定し、それを緩やかな縛りとして初学者に伝えることを目的とした入門書です。なぜ「方法」か。その理由は、「学問」とは単に知識や技能を無秩序に修得するのではなく、何らかの「方法論」に基づいてなされるものだ、という共通認識があるからです。そして、大学での学びは（少なくとも当該分野では）まさに「学問」に他ならないからです。本書で展開される各論は中国文化の多様な相を反映しているため、「方法」の捉え方にも多様性があり、論じ方も各執筆者によって個性（差異）がありますが、全体を通読すると図らずも文系学問の基層にある「方法」概念（共通性）が浮かびあがってくるはずです。

本書で扱う「中国学」には、当然本学の学問的特色である「日本漢学」や「日中比較文化」、視覚芸術である「書道」も含まれます。従って『説文解字』、『詩経』、『列女伝』、『論語』、『三国志演義』、『国語』などよく知られたテクスト読解の方法だけでなく、「文字学」、「文学」、「歴史」、「思想」を始め、異文化受容の豊かな成果である「日本漢学」、新たな学問概念である「域外漢籍」、鑑賞と実践を通して学ぶ「日・中書道」といった諸学問分野、加えて中国学の基礎「漢文訓読」に関する研究方法についても具体的に詳説されているという特徴があります。

中国学は、長大な歴史的経験を経た先人達の膨大な知恵を、効率よく吸収し自己の思考の糧とすることができる非常に優れた学問であり、また我々が未来に向けて行動する際に参照すべき「指針」や「教訓」の宝庫と言えます。「中国学」を専門としない方、一般の方にも是非読んでいただきたいと思います。

文学部中国文学科　教授　田中正樹

編集後記

「季報」113 号をお届けします。
今年度から対面授業が再開され、図書館に活気が戻りつつあります。
さて、今号の文学散歩では太宰治が暮した三鷹を、作家のおやつ巡りでは江戸川乱歩ゆかりの和菓子を紹介しました。依然コロナ渦中でありますが、十分に注意しつつ散策してみてはいかがでしょうか。三原堂のお饅頭は美味しそうです。　（S・A）

二松学舍大学附属図書館
季　報
第 113 号

発行日　2022 年 7 月 15 日
発　行　二松学舍大学附属図書館
九段図書館　〒 102-8336　東京都千代田区三番町 6-16
電話：03-3263-6364
柏図書館　〒 277-8585　千葉県柏市大井 2590
電話：04-7191-8758
印刷所　株式会社 サンセイ